

3. 正午

日の出、日没の時刻は毎日変わります。これは地球の地軸が $23^{\circ}26'21''$ 傾いているからです。北回帰線、赤道、南回帰線の間で太陽の角度が変わります。北回帰線上にある時が夏至、赤道上は春分、秋分、南回帰線は冬至です。

夏至は日の出が早く、日没が遅い、昼が一番長い日です。冬至は反対で昼が一番短い日です。そして春分と秋分の日が昼、夜が同じになります。

ところが 365 日太陽が正中するのは決まった時刻、即ち正午です。

古代より日時計で陰が一番短くなる時を正午として、その地の時間の基準にしております。ですから其の地を治める支配者の城塞や神に祈る祭壇には必ず日時計の棒が設置されていました。

我が国では明石市を通る 135° の子午線上を太陽が通過するときが正午として日本国内は全て同一 (JST (Japan Standard Time)) 時間で統一されております。

東京駅の上空で正中するのは 11 時 41 分 (JST) ということになります。

地球が傾いているので極に近づくほど正午位置の太陽の角度は低くなります。ですから北半球での冬至頃は明るい昼の時間は僅かしかありません。

アイスランドのレイキャビック (64°N) 港に 12 月に寄港したことがありましたが明るくなるのが AM10 時頃で PM2 時には暗くなります。反対に夏期は暗くならない白夜で、真夜中全く灯の明かりがない外で新聞が十分に読める明るさで白っぽい明るさに包まれた文字通りの白夜です。